

ご担当者様
向け

経理の仕事に必要な
基礎知識&最新情報が詰まった月刊誌です!

月刊 経理WOMAN

皆さん、こんにちは。
中小企業の経理担当の仕事は盛りだくさんですよ。
日常業務でさえ手いっぱいなのに、法改正や電子化など、目まぐるしく変わる
経理の状況を把握するのも大変です。
そんな経理担当者のために、どこよりも分かりやすく
税務・社会保険の法定事務や実務知識、最新情報までをまとめたのが、
「月刊経理WOMAN」です。
さらに「有名人の金銭哲学」や「グッズ情報」など、
息抜きになる楽しい読み物も満載です。
この機会に、ぜひ読んでみてくださいね(もちろん男性の経理ご担当者もどうぞ)。

実務能力のレベルアップを
図りませんか?



「月刊
経理WOMAN」
編集部
横田麻美

▼▼▼最新号(2023年12月号)ではこんな記事が掲載されています!▼▼▼



■特集■

人材開発 業務改善 退職金制度導入 キャリアアップ...いろいろあります

社員の「待遇改善」に使える 助成金ガイド

■特別付録■

令和5年版 「年末調整まるかじり」

■その他の掲載記事■

- ◎「繰延資産」にまつわる疑問が
水解するQ&A
- ◎「スキャナ保存」のこんな
勘違いに要注意!!
- ◎社長に教えてあげたい
「生前贈与」の最新知識
- ◎総務担当者のための
「産休・育休制度」の実務ノート
- ◎年末年始休暇に鑑賞したい
「お薦めシネマ&DVD」
決め打ち12本
- ◎有名人が語る「わたしの
金銭哲学」(藤井隆さん)

毎号
お役立記事
満載
!!!!

- 創刊:1996年4月 ●体裁:A5判、縦組、116ページ
- 発行日:毎月20日 ●年間購読料:11,100円
(12冊分/1冊当たり925円/税・送料込)

今だけ!!

年間購読を
お申し込みの皆さまに
最新号(2023年12月号)を

無料贈呈

OPEN

皆さん、こんにちは。編集長の天野恵実子です。

本誌「月刊経理WOMAN」の創刊は1996年4月のことです。以前私は別の出版社で経理・税務の雑誌を編集していたのですが、「経理や税金の記事は難しい！ ビギナーでも理解できるようにやさしく解説できないのかなあ…」と常々思っていました。そこで税務や社会保険についてビギナーの経理・税務・総務担当の方でも理解できるように、できるだけ分かりやすく解説することをコンセプトに創刊したのが「月刊経理WOMAN」です。創刊からあつという間に27年が過ぎましたが、おかげさまで現在、全国4万人の経理総務ご担当者の皆さんにご愛読をいただいています。



月刊経理WOMAN 2023年12月号

にはこんな記事が掲載されています！👇

「月刊経理WOMAN」2023年12月号の特集企画では「助成金」を取り上げました。助成金は銀行借入と違って返済する必要がありません。つまり「タダでもらえるお金」なのです。12月号の特集企画では賃上げや教育訓練など社員の「待遇改善」に使える助成金をご紹介します。また助成金をスムーズに受給するためのポイントについてもアドバイスしています。この機会に助成金の活用を検討されてはいかがでしょうか。

特集 人材開発 業務改善 退職金制度導入 キャリアアップ…いろいろあります

社員の「待遇改善」に使える 助成金ガイド

受給要件を満たしているにもかかわらず、助成金の存在を知らない、手続きの仕方が分からないという理由で、申請をしていないケースは少なくありません。しかし、インターネットで情報はいくらでも入手できる時代ですから、この「タダでもらえるお金」を活用しない手はありません。

本特集では、「人手不足への対応」や社員の「キャリアアップ」に使える助成金を詳しくご紹介しています。

なお本特集は、以下の4つのLESSONで構成しています。

- LESSON1 助成金の活用を検討すべきこれだけの理由
- LESSON2 いろいろあります社員の「待遇改善」に使える助成金
- LESSON3 助成金をスムーズに受給するための労務管理のポイント教えます
- LESSON4 助成金の活用—経理担当者はこんな役割を果たそう

この機会にぜひ「助成金」を活用しましょう!!



別冊
付録

令和5年版「年末調整まるかじり」

今年も年末調整の時期がやってきました。今年の年末調整では前年同様に大きな改正はありませんが、非居住者扶養親族の適用範囲の変更や住宅ローン控除申告書の要件変更などに注意が必要です。また、令和6年度以降は扶養控除等申告書と保険料控除申告書についての記載事項が簡素化される見込みです。

本付録では年末調整の基本知識から改正ポイント、年末調整の電子化の方法等をビギナーにも分かるようにレクチャーします。ぜひお役立てください!

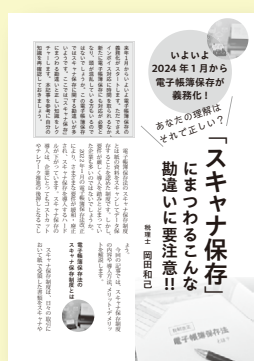


2023年12月号のオススメ記事 ①

いよいよ2024年1月から電子取引データ保存が義務化！あなたの理解はそれで正しい？

「スキャナ保存」のこんな勘違いに要注意!!

いよいよ電子取引データ保存の義務化がスタートします。来年からは新たに電子取引データ保存にも対応が必要となり、混乱している経理担当者もいるのではないのでしょうか。この電子取引データ保存ではスキャナ保存に関する勘違いが多いようです。「スキャナ保存」にまつわる勘違いと正しい知識をレクチャーします。



point この記事で理解できること

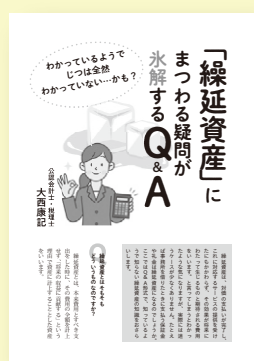
- ★電子帳簿保存法の概要のおさらい
- ★スキャナ保存とはどういうものなのか
- ★スキャナ保存に関連してありがちな勘違い
- ★スキャナ保存に関連して経理担当者の心得とは 他

2023年12月号のオススメ記事 ②

わかっているようでじつは全然わかっていない…かも？

「繰延資産」にまつわる疑問が氷解するQ&A

繰延資産に関しては実務処理で迷うケースが少なくありません。たとえば事務所を借りたときに支払う保証金や礼金は繰延資産になるのでしょうか。あるいは「前払費用」や「無形固定資産」とはなにが違うのでしょうか。ここではQ&A形式で、知っているようで知らない繰延資産の知識をおさらいします。



point この記事で理解できること

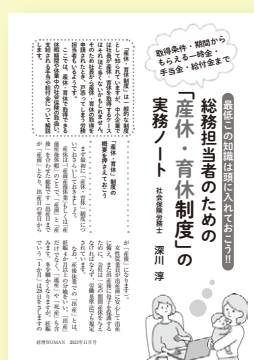
- ★繰延資産とはそもそもどういうものなのか
- ★繰延資産には具体的にどんなものがあるのか
- ★会計と税法での繰延資産の違いについて
- ★繰延資産の償却方法 他

2023年12月号のオススメ記事 ③

取得条件・期間からもらえる一時金・手当金・給付金まで最低この知識は頭に入れておこう!!

総務担当者のための「産休・育休制度」の実務ノート

社員数の少ない中小・零細企業では社員が産休・育休を取得するケースは多くありません。そのため社員から産休・育休の取得を申請されたとき、戸惑ってしまう労務担当者もいるようです。ここでは、産休・育休で取得できる休暇期間や社会保険の取扱い、支給される手当や給付金について解説します。



point この記事で理解できること

- ★そもそも「産休・育休」とはどんな制度なのか
- ★「産休」の取得条件・期間・もらえる一時金・手当金について
- ★「育休」の取得条件・期間・もらえる給付金について
- ★それぞれの社会保険の取扱いについて
- ★その他、中小企業の総務担当者へのアドバイス 他

2023年12月号のオススメ記事 ④

令和5年度税制改正で暦年贈与等の制度が大幅に変更された!!

社長に教えてあげたい「生前贈与」の最新知識

生前贈与と死後に相続した財産を合算し相続税を納める場合の合算期間が、令和5年度税制改正で7年間に延長されます。ほかにも相続時精算課税制度が大幅に改正されています。ここでは令和5年度税制改正で大きく変わった「生前贈与」の税務知識をわかりやすく解説します。社長に教えてあげましょう!!



point この記事で理解できること

- ★相続税・贈与税改正の背景
- ★暦年贈与の意味と改正内容
- ★相続時精算課税制度の意味と改正内容
- ★贈与税や相続税で損をしないためのアドバイス 他

月刊 経理WOMAN の ここがオススメです!!

「月刊経理WOMAN」の最大の特長は.....

**難しい専門知識をビギナーの実務担当者にも
理解できるよう丁寧に解説していること。**

執筆者の先生のなかには、やたら難解な表現で原稿を書いてくる方もいるのですが、何度も書き直しをお願いして、これならビギナーでもわかる!とGOサインが出ない限り掲載しません。ほかにも以下のようなオススメポイントがあります。



経理税務だけでなく 社会保険・総務・人事関連の企画も 豊富にピックアップ!

中小企業の経理ご担当者は、経理の仕事だけをやっているわけではありません。社会保険事務から給与計算、採用関係、登記手続きまで幅広い仕事をこなすことも。多岐にわたる経理担当者の業務を取り上げています。



「今月の事務」では 毎月の法定事務や 税制改正情報などを掲載!

連載「今月の事務」では税理士と社会保険労務士が、毎月の法定事務や、気をつけたい事務手続きを解説。また、そのときどきで押さえておきたい法改正情報も都度取り上げてご紹介しています。毎月の事務の指針としてご活用ください。



毎年12月号には 別冊付録「年末調整まるかじり」が 付いています!

経理ご担当者にとって最大のイベント、「年末調整」。毎年12月号には別冊で付録が付き、年末調整の基本知識からその年の改正ポイントまでをビギナーにも分かるように1冊にギュッとまとめています。ぜひお忙しい年末にお役立てください!



経理関連の お堅い記事だけでなく 楽しい記事も満載です!

連載「わたしの金銭哲学」は、著名人にインタビューをしてお金にまつわるエピソードや信念、失敗談等をまとめた記事。ほかにも、映画情報や書籍情報も掲載しています。投稿欄「経理WOMANの井戸端会議室」は経理担当者が「あるある!」を共感できる場です。



編集部には、毎月、読者の皆さんからの
熱いメッセージが届きます。
本誌に対する感想や「あの記事が役に立った!」
「こんな企画を取り上げて」といった内容も多く、
読者の皆さんには感謝あるのみです!!



研修出版は こんな会社です！

株式会社研修出版の創業は平成元年。設立から35年が経過します。創業以来、実務書の出版社として「仕事に役立つ情報をどこよりも分かりやすく発信し、広く社会に貢献する」ことをポリシーとしてきました。編集スタッフの合言葉は「営々黙々花が咲こうと咲くまいと」。これからも皆さまのお役に立てる雑誌作りに邁進していきます！

経理WOMAN編集部。
編集者は全員女性です。



執筆者 の 声

丁寧な編集に 文章力を 鍛えられました

税理士 伊藤俊一



はじめまして。税理士の伊藤俊一です。「月刊経理WOMAN」さんとの付き合いは、編集部から原稿依頼を受けた8年前にスタートしました。そのときは「雇用促進税制」について執筆を依頼されたのですが、編集の方の依頼内容がとても細かくてびっくりしたのを覚えています。

私は他の税務関係の雑誌にもときどき記事を執筆しているのですが、だいたいは執筆依頼書を送ってきて、そこに書かれている項目に沿って執筆すればOKで、とくに細かく注文されることはありません。税務の記事は難解なのが当然という意識もあるのかもしれませんが、しかし、「月刊経理WOMAN」さんの場合は編集者の方が事務所まで来られて、雑誌のコンセプトや想定している読

者対象などについて詳しく説明され、「難しい表現は避けてください。ビギナー経理にも理解できるように解説してください」と念を押されました。

そして出来上がった原稿についても「ここが分かりにくいので書き直しを…」とゲラ刷りの段階でのやりとりが何度も続きました。面倒だなあ…という気持ちの反面、読者のことをとても大切にしている雑誌だなあと好感を持ちました。それ以来、本誌では「相続税法の改正」や「税務調査関連」の原稿を執筆しましたが、編集部で鍛えられ(笑)、文章力も身に付いたように思います。

経理・税務の知識を分かりやすく解説してくれる書籍を探していच्छる方には絶対オススメの月刊誌です。

幅広い分野の 実務知識が 身に付く雑誌です

社会保険労務士
笹島敏邦



「月刊経理WOMAN」さんには何度か記事を書かせていただいています。最初は社会保険の手続きを解説したと思いますが、「経理」の専門誌なのに社会保険の記事を掲載するの?と疑問に思ったものです。

その疑問も、最初に女性編集者の方と打ち合わせをして納得しました。

中小企業の初級の経理担当者を対象にしていること。中小企業の多くは、大企業のように経理部門が独立していないこと。経理といっても人事・総務的な仕事や採用関連まで幅広く担当しているケースが多いこと……などなど。

たしかに本誌に目を通してみると、経理や税務の記事だけでなく、社会保険から採用関連、取締役議事録の作成方法、登記簿謄本の読み方まで、内容がじつに幅広い。なるほど、これならオールラウンドプレーヤー的な立場の中小企業の実務担当者にはぴったりだなあと得心しました。

本誌で幅広い実務の基本知識を身に付けて、もっと専門的に知りたい、深い知識を身に付けたいという場合は、顧問税理士や社会保険労務士の先生にアドバイスを受ければよいのではないのでしょうか。幅広い実務知識を勉強できる良質の月刊誌だと思います。

愛読者 の 声

経理歴10年以上になりますが、毎月の仕事にいつも参考にさせていただいています。経理課に配属された当初から購読していますが、最新の税制に関する情報から、初心者向けの記事まで、内容が多岐にわたって分かりやすく解説されているので、とても読みやすく理解しやすいです。

とくに「仕訳ワンポイントレッスン」や「初心者E子の実務レッスン講座」は、日頃当たり前に行なっている業務を改めて考える機会になり、毎回新たな発見があります。また、本誌の冒頭の連載企画である「今月の事務チェックポイント」は、毎

月雑誌が届くとまず最初に目を通す記事です。というのも当月にやるべき経理・税務・社会保険・労務の法定事務の内容や手続きの仕方が分かりやすく解説されているからです。「経理WOMAN」と女性向けのタイトルですが、部署内で回覧し男性も読んでいます。

その他、映画の紹介(今月のシネマ 決めうちこの1本)や書籍紹介(お気に入りのこの1冊)、読者投稿(経理WOMANの井戸端会議室)なども息抜きにぴったり。経理スキルの浅かった私にとって、かけがえのない愛読誌となっています。

私にとって かけがえのない 愛読誌です

株式会社北川商事
経理課
清田 寧



お申込みは以下のいずれかの方法でどうぞ!!

0120-458934

受付時間：10時～15時（祝日を除く月曜～金曜）

FAX 0120-458937

FAXの場合は下記のフォームをご利用ください。

Web www.kens-p.co.jp

24時間受付しております。

年間ご購読お申込書

お申込者ご住所

送付先が上記住所と違う場合はこちらへご記入ください。

〒

ご自宅・ご勤務先 ※どちらかに○印をお付けください。

会社名・部署名

お電話番号

()

ご担当者名

メールアドレス

ご購読期間をお選びください

(いずれかに☑をお付けください。)

安心1 お支払いは月刊誌が届いてからの後払いです。

安心2 中途解約も可能です。

その場合は精算のうえ、ご返金申し上げます。

1年 (12冊) …………… 11,100円 (税・送料込 / 1冊当たり925円)

2年 (24冊) …………… 19,980円 (税・送料込 / 1冊当たり833円)

3年 (36冊) …………… 25,600円 (税・送料込 / 1冊当たり712円)

▶バックナンバーご購入お申込書

*ご希望の号に☑印をお付けください。1部980円(税・送料込)です。
*詳細や他の号の内容はホームページでご確認いただけます。



2023年11月号
アフターコロナの
「税務調査」—
ここに留意しよう



2023年10月号
「現物給与」をめぐる
税務の知識まるわかり



2023年9月号
「インボイス制度」の疑問が
水解する15Q15A



2023年8月号
儲けにつながる
「経営計画書」の
つくり方&活かし方



2023年7月号
「改正電子帳簿保存法」—
中小企業の実務対応Q&A



2023年6月号
「決算書を読むチカラ」が
身に付くセミナー



2023年5月号
「バウハラ・セクハラ」
トラブル回避のための
完全マニュアル



2023年4月号
中小企業のための
「資金調達」の教科書



2023年3月号
貸借対照表(B/S)から
読み解く財務改善
7つのヒント



2022年12月号
決算3カ月前にできる
「節税対策」あの手この手



2022年11月号
いますぐ着すべし
「就業規則」の見直し
ポイント



2022年10月号
最新版「税務調査」に
みるみる強くなる
19Q19A

キリトリ線 (ここを切り取ってからMAXしてください)